

DRready関連ガイドライン（仮称）作成について

2026/7/24

JEITA スマートホーム部会 スマートホームSWG

DRready関連ガイドライン（仮称）作成の概要

- 「DRready機器」および、「DR可能な機器」について、記載します
- 機器メーカーサーバー経由型（サーバー直接通信形態）とGW経由型（GWを利用する場合の接続形態）の両方を対象とします
- 資料は、DR可能な機器（対象機器は、ヒートポンプ給湯機、ハイブリッド給湯機、家庭用蓄電池、家庭用燃料電池、EV充電器・充放電器等）のメーカー様に向けた資料として作成します
- セキュアなプロトコルを利用する機器と、セキュアでないプロトコルを利用する機器が混在する場合についても、検討を行います
- エコネットコンソーシアム様とは、GWを利用する場合のプロトコルなどについて連携をとりながらすすめます。また、状況によっては、適宜、関連業界団体などへの、説明やヒアリングを行ないます
- スケジュールに関しては、IPAでの、JC-STARスマートホーム分野★2の検討状況を見ながら、その内容をキャッチアップしつつ、適切な時期（現在の見通しでは11月頃）にガイドライン（案）をご提供します

ありがとうございました